

資 格 名	概 要	試験日・申込期間	奨励度	難易度	大学での支援内容	試 験 内 容	問い合わせ先	備 考
技術士一次試験	技術士一次試験は公益社団法人日本技術士会によって行われる試験です。技術士資格を取るために、この一次試験に合格する必要があります。	申込受付期間：6月中旬～ 6月下旬頃 筆記試験：11月末頃	A	A***	振動工学 流れ学 材料力学 工業熱力学	専門科目 120分 適性科目 60分 基礎科目 60分	(公社)日本技術士会 〈学内〉山下	(受験資格) 特に制限はない。
機械設計技術者 (3級)	新人の機械設計技術者に受験の機会を提供し、資格の称号を与える。学生に受験の機会が提供されることにより、学校における勉学と連結され、目標ができることにより機械設計能力の向上が期待される資格。	試験(予定) 2022年度は11月20日(日) 受付期間：7月下旬から9月末	A	A***	機構学 機械要素Ⅰ、Ⅱ 力学Ⅰ、Ⅱ 機械材料 材料力学Ⅰ、Ⅰ演習 流体工学 工業熱力学Ⅰ、Ⅰ演習 機械製図 機械加工学	機構学・機械要素設計、流体工学、工作法、機械製図(120分)と材料力学、機械力学、熱工学、制御工学、工業材料(120分)の8科目240分。マークシート方式、ホームページに過去の問題あり。	(一財)日本機械設計工業会 TEL：03-6222-9310 〒104-0033 東京都中央区新川12-6-4 新川エフ2ビル4F 申請はホームページから 〈学内〉山下	(受験資格) 特に制限はない。
CAD利用技術者 3次元(2級・準1級・1級) 2次元(基礎・2級・1級)	パーソナルCADシステム利用技術の普及と高度化を目的とする技術者試験。設計製図業務に従事する者にとっての資格。	2次元CAD 一級：筆記と実技(80分) 二級：筆記(60分) 基礎：筆記試験(50分)	A	B**	機械製図 機械要素Ⅰ、Ⅱ 機械CAD実習Ⅰ、Ⅱ	実技・学科 ホームページに参考文献あり	(一社)コンピュータ教育振興協会 TEL：03-3560-8437 〈学内〉山下	(受験資格) 2級、基礎は制限なし。 1級は2級有資格者。
中古自動車査定士	中古自動車査定基準に基づいて、中古車の査定を行うために必要な資格。 小型車査定士(普通運転免許以上を保有)と大型車査定士(大型第一種免許以上を保有)の2種類があるが、いずれも運転免許を保有していることが必要。	受付：9月初旬～10月初旬 研修：11月中～下旬 試験：12月中旬	A	B** 合格率80%以上	自動車工学Ⅰ、Ⅱ 自動車整備Ⅰ、Ⅱ 自動車整備実習Ⅰ、Ⅱ 自動車法規	学科試験 ①中古自動車査定制度 ②中古自動車査定基準 ③自動車の構造・機能・取扱い ④保安基準、法規 実技試験 査定の実技	(一財)日本自動車査定協会本部 TEL：03-5776-0901(代) 福井県支所 TEL：0776-34-1624 〈学内〉位田	(受験資格) ・自動車運転免許保有者が対象。 ・在学中に受験可能。 ・要研修。
技 能 士 (機械加工)	技能検定は、「働く人々の技能を一定の基準により検定し、国として証明する国家検定制度」。検定は職種によって分類され、その中の機械加工はさらに作業の種類によって分類されている。検定は難易度によって4段階に分けられ、合格者は技能士を称することができる。	試験は年2回。詳細はホームページで確認のこと。 前期 実技：6月中旬～9月上旬 学科：7月末～9月上旬 後期 実技：11月下旬～ 翌年2月中旬 学科：1月末～2月中旬	A	B**	機械工学実習 機械加工学 機械材料 機械製図 機械要素Ⅰ、Ⅱ	実技・学科 ホームページ参照	各都道府県職業能力開発協会 福井県 〒910-0003 福井市松本3-16-10 TEL：0776-27-6360 〈学内〉山下	実務経験は3級および2級には必要なし。 3級は在学中でも受験可能。 2級は3級合格後受験可能。
危険物取扱者 (甲種・乙種)	発火性、引火性の強い危険物を製造、貯蔵、取扱をする場所で保安・監督する。	試験の種類、各都道府県によって期日、回数異なる。	B	合格率35% 程度 C～B*	基礎化学	専門知識・法令	(一財)消防試験研究センターの各都道府県支部又は消防署 TEL：0776-21-7090(福井県支部) 〈学内〉山下	(受験資格) 乙種は在学中でも受験可能。

注) 難易度欄 * 1、2年次で受験でき、さらに上級資格に繋がる比較的取得し易い資格
 ** 就職に有利な資格で3年、4年前期に受験して欲しい資格
 *** 難易度が高く優秀な学生に取得推奨(特に就職活動に有利な資格)

卒業後に受験可能な資格試験〈実務経験・要〉	資格名	概要	試験日・申込期間	奨励度	難易度	大学での支援内容	試験内容	問い合わせ先	備考(注)
	自動車整備士 (一級・二級・三級)	4輪及び2輪自動車の点検、調整、整備をするいわば車のお医者さん。	検定試験の学科試験は年2回、実技試験は8月と2月の年2回であり、登録試験の学科試験は3月と10月の年2回。	A	B	自動車工学Ⅰ、Ⅱ 自動車整備Ⅰ、Ⅱ 自動車整備実習Ⅰ、Ⅱ 自動車法規 (自動車システム コースの授業)	①二級ガソリン自動車整備士②二級ジーゼル自動車整備士などに分類され、この内1又は2種類を選んで受験	各県運輸支局整備担当又は各県自動車整備振興会、国土交通省中部運輸局 TEL：052-952-8002 又は(一社)日本自動車整備振興会連合会 TEL：03-3404-6141	(受験資格) 自動車システムコースにおいて所定の科目を履修、終了すると、二級自動車整備士の受験資格が得られる。
	ボイラー技士 (特級・一級・二級)	取扱えるボイラーの規模によってボイラー技士の資格が違うが、ボイラーを取扱う業務に必要。	特級：年1回 一級：月1回 二級：月2回	B	実技講習会に出席すれば、二級は容易に取得：C 一級はA	工業熱力学	①ボイラーの構造②ボイラーの取り扱い ③燃料及び燃焼④関係法令	(公財)安全衛生技術試験協会 近 畿：TEL：0794-38-8481 中四国：TEL：0849-54-4661 (一社)日本ボイラ協会福井支部 TEL：0776-26-4581	(受験資格) (1)特級 卒業後、2年以上の実地修習 (2)一級 卒業後、1年以上の実地修習及び二級合格者に対しては、一級受験資格が得られる。しかし免許証の交付は、3年の実務試験を必要とします。在学中でも受験可能。
	ガス溶接作業主任者	アセチレン溶接装置やガス集合溶接装置を使って金属の溶接・溶断、加熱などをする作業の指揮をとり、災害防止につとめる業務に就くための資格。	地区により4月と10月、または6月と12月。	B	B	機械加工学 材料力学 機械実習	①アセチレン溶接装置およびガス集合溶接装置に関する知識②アセチレンその他の可燃性ガス・カーバイドおよび酸素に関する知識③ガス溶接などの業務に関する知識④関係法令	(公財)安全衛生技術試験協会 TEL：03-5275-1088	(受験資格) 卒業後、1年以上の実務経験。 ガス溶接は国家資格と民間資格がある。 国家資格：ガス溶接技能者、ガス溶接作業主任者、ボイラー溶接士 民間資格：日本海事協会船舶溶接士、日本溶接協会のJIS溶接工、日本溶接協会のJPI溶接工、日本溶接協会のJIS半自動アーク溶接技術検定、日本溶接協会のステンレス鋼溶接技術検定 etc

(注)すべて卒業後、実務経験が必要になります。